

# 京大理科数学 1975

70/150

	1月	2月	3月	総
①	A	A	A	20
②	A	A	A	20
③	A	A	A	20
④	A	A	A	20
⑤	C	B	B	20
⑥	B	B	B	20

第 1 問

[解] 1チームの勝ち数は、 $n-1, n-2, \dots, 1, 0$  の  $n$ 通りしかないので、  
題意から、第  $k$  位のチーム  $A_k$  は  $n-k$  勝していることになる ( $k=1, 2, \dots, n$ )  
以下、題意の成立を  $k$  についての帰納法で示す。

1°  $k=1$  の時

1位のチームは  $n-1$  勝。つまり他の全てのチームに勝っており、成立。

2°  $k \leq n$  の成立を仮定 ( $i=2, \dots, n-1$ )

$k=i+1$  の時、仮定から、 $A_{i+1}$  は  $A_1 \sim A_i$  のチームに負けており、少なくとも  $i$  回負けている。従って、 $n-(i+1)$  勝するには残りの全ての試合に勝つことになるから、 $k=i+1$  でも成立

以上から示した因

## 第 2 問

[解]

(1)  $x \geq 0$  から AM-GM

$$\frac{x+1}{2} \geq \sqrt{x} \quad \cdots \textcircled{1}$$

(2) ①から  $[0, k]$  の時

$$\sqrt{x} \left(1 - \frac{x}{k}\right)^k \leq \frac{1}{2}(x+1) \left(1 - \frac{x}{k}\right)^k$$

両辺同じ区間で積分. 左辺は  $A$  として

$$A < \frac{1}{2} \int_0^k (x+1) \left(1 - \frac{x}{k}\right)^k dx$$

$$t = 1 - \frac{x}{k} \text{ とおく } \frac{dt}{dx} = -\frac{1}{k}, x: 0 \rightarrow k \text{ で } t: 1 \rightarrow 0 \text{ となる}$$

$$A < \frac{1}{2} \int_1^0 [1+k(1-t)] t^k (-k) dt$$

$$= \frac{1}{2} k \int_0^1 [(1+k)t^k - k t^{k+1}] dt$$

$$= \frac{1}{2} k \left[ t^{k+1} - \frac{k}{k+2} t^{k+2} \right]_0^1$$

$$= \frac{1}{2} k \frac{2}{k+2} = \frac{1}{1+2/k} < 1 \quad (\because k \in \mathbb{N}) \quad \square$$

### 第 3 問

[解] 題意から

$$\begin{cases} 2\beta = \alpha + \gamma \quad \dots ① \end{cases}$$

$$\begin{cases} \sin^2 \beta = \sin \alpha \sin \gamma \quad \dots ② \end{cases}$$

①を②に代入

$$\begin{aligned} \sin^2 \frac{\alpha + \gamma}{2} &= 2 \sin \frac{\alpha}{2} \cos \frac{\alpha}{2} \sin \frac{\gamma}{2} \cos \frac{\gamma}{2} \\ &= \frac{1}{2} \left[ \sin \frac{\alpha + \gamma}{2} + \sin \frac{\alpha - \gamma}{2} \right] \left[ \sin \frac{\alpha + \gamma}{2} - \sin \frac{\alpha - \gamma}{2} \right] \end{aligned}$$

$$t = \frac{\alpha + \gamma}{2}, \quad s = \frac{\alpha - \gamma}{2} \text{ とおく}$$

$$\sin^2 t + \sin^2 s = 0 \quad \dots ③$$

$\sin t, \sin s \in \mathbb{R}$  から、③が成立するとは

$$\sin t = \sin s = 0$$

$$\therefore \frac{\alpha + \gamma}{2} = n\pi, \quad \frac{\alpha - \gamma}{2} = k\pi \quad (n, k \in \mathbb{Z})$$

の時である解いて

$$\alpha = (n+k)\pi$$

$$\gamma = (n-k)\pi$$

①に代入して

$$\beta = n\pi$$

従って、問題の答えになるのは、 $n, k \in \mathbb{Z}$  かつ

$$(\alpha, \beta, \gamma) = ((n+k)\pi, n\pi, (n-k)\pi)$$

# 第 4 問

[解] 点  $X$  の位置ベクトルを  $\vec{x}$  と定める  $\vec{d} = \vec{PA} + \vec{PB} + \vec{PC}$  と

し、 $G$  を  $\triangle ABC$  の重心とすると

$$\vec{d} = \vec{a} + \vec{b} + \vec{c} - 3\vec{p}$$

$$= 3(\vec{g} - \vec{p})$$

$$\therefore |\vec{d}| = 3|\vec{g} - \vec{p}| = 3|\vec{PG}|$$

したがって、定円の中  $P$ 、直線  $DG$  と定円の交点のうち、

$G$  と  $P$  に関して反対側のものをとて、 $P = E$  のとき

最大。

# 第 5 問

[解] 
$$\begin{cases} 2 \leq a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n \\ S = n - 2 - \sum_{i=1}^n \frac{1}{a_i} > 0 \end{cases}$$

(i)  $n=3$ の時.

$$S = 1 - \left( \frac{1}{a_1} + \frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} \right)$$

だから、 $S > 0$  となるのは、 $\frac{1}{a_1} + \frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} < 1$  となる組を求めたいが、 $\frac{1}{x}$  は  $2 \leq x$  で単調減少なことから、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} = \frac{3}{2} > 1$  となるから、

1°  $a_1=2$ の時

$$\frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} < \frac{1}{2} \text{ となる組を求めたい} \Rightarrow \frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} < \frac{1}{2} \text{ となる組を求めたい}$$

える。  $a_2, a_3 \geq 2$  から、 $(a_2-2)(a_3-2) > 4$  となる。

$$(a_2, a_3) = (3, 7), (4, 5) \text{ であり } a_2 \geq 5$$

$$\text{したがって、求める組は } (a_1, a_2, a_3) = (2, 3, 7)$$

2°  $a_1=3$ の時

$$\frac{1}{a_2} + \frac{1}{a_3} < \frac{1}{3} \Leftrightarrow (a_2-3)(a_3-3) > 9 \text{ となる組を求めたい}$$

する  $a_2, a_3$  がある。  $(a_2, a_3) = (4, 13), (5, 8), (6, 7)$  であり  $a_2 \geq 7$  となる。

明らかに 1° のときの方が小さい

$$\text{以上から、求める組は } (a_1, a_2, a_3) = (2, 3, 7)$$

(ii)  $n \geq 5$  の時。  $a_i = 2$  ( $i=1, 2, \dots, n$ ) とすると、

$$S = n - 2 - \frac{n}{2} = \frac{1}{2}(n-4) > 0$$

となり、 $S$  は最小値をとる。  $n \geq 5$  になると、 $\frac{1}{2}(n-4) > 0$  となる。  $n=5$  のとき、 $S$  は最小値をとる。以下  $1 \leq n \leq 4$  として考える。  $n=1$  のとき、 $S$  は明らかに負だから不適。  $n=2$  のとき、 $S$  は明らかに負だから不適。  $n=3$  のとき、 $S$  は明らかに負だから不適。  $n=4$  のとき、 $S$  は明らかに負だから不適。  $n=5$  のとき、 $S$  は明らかに正だから、 $a_1=a_2=a_3=2, a_4=3$  のとき、 $\min S = 2 - \left( \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} \right) = \frac{1}{6} > 0$  となる。

以上から、

$$\begin{cases} n \geq 5 \text{ の時 } n=5, a_i=2 \text{ で } \min S = \frac{1}{6} \\ n=4 \text{ の時 } a_1=a_2=a_3=2, a_4=3 \text{ で } \min S = \frac{1}{6} \\ n=3 \text{ の時 } (a_1, a_2, a_3) = (2, 3, 7) \text{ で } \min S = \frac{1}{6} \end{cases}$$

また、 $S$  は  $\min$  となるのは

$$n=3, (a_1, a_2, a_3) = (2, 3, 7)$$

の時。

# 第 6 問

[解] Aを原点, B(2,0) C(0,2)

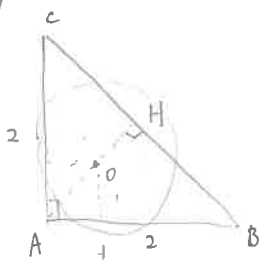
とするxy平面で考える。又

$O(t,t)$  ( $0 < t$ ) とある円の

円Tとおく。

$$T: (x-t)^2 + (y-t)^2 = 1$$

$$BC: x+y=2$$



(i) Tとx軸の交点は  $x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0$  の2実解

$$\begin{cases} x_1, x_2 \\ y_1, y_2 \end{cases} \quad \begin{cases} x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0 \\ y^2 - 2ty + t^2 - 1 = 0 \end{cases}$$

$$\begin{cases} BC \\ \end{cases} \quad \begin{cases} 2x^2 - 4tx + 2t^2 - 4t + 3 = 0 \end{cases}$$

だからこれから  $0 \leq x \leq 2, 0 \leq y \leq 2$  に2実解を持つ条件を考えて。

$$\begin{cases} \text{①} : 0 < t < 2, \\ \text{②} : 2t^2 - 4t + 3 \geq 0, \\ \text{③} : t^2 - (2t^2 - 1) > 0 \end{cases}$$

$$\begin{cases} \text{④} : 0 < t < 2 \\ \text{⑤} : 2t^2 - 4t + 3 \geq 0, \\ \text{⑥} : 4 - 2(2t^2 - 4t + 3) > 0 \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow \begin{cases} 0 < t < 2 \\ \frac{1}{2} \leq t, t < 1 \end{cases} \quad \wedge \quad 2 - \sqrt{2} < t < 2 + \sqrt{2}$$

$$\Leftrightarrow \frac{1}{2} \leq t < 1$$

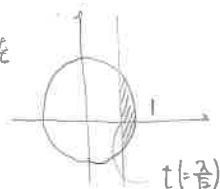
$$\text{よって } x = \sqrt{2}t \text{ から } 1 \leq x < \sqrt{2}$$

(ii) (i)の時, Tの中心とx,y軸, BCとの交点は各々

$$t, t, \sqrt{2}-\sqrt{2}t$$

だから, F(t)が右図斜線部の面積を

表すことから。



$$S = \pi - 2F\left(\frac{\pi}{4}\right) - F(\sqrt{2}-x)$$

(iii) (i)から

$$\frac{dS}{dx} = +4\sqrt{1-\frac{x^2}{2}} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} - 2\sqrt{1-(\sqrt{2}-x)^2}$$

$$= 2\sqrt{2-x^2} - \sqrt{1-(\sqrt{2}-x)^2}$$

$$= 2 \frac{-2\sqrt{2}x+3}{\sqrt{2-x^2} + \sqrt{1-(\sqrt{2}-x)^2}}$$

から下表を得る

$x$	1	$\frac{3}{4}\sqrt{2}$	$\sqrt{2}$
$S'$		+	-
$S$		$\nearrow$	$\searrow$

よって  $x = \frac{3}{4}\sqrt{2}$  で  $S$  は最大。